

授業科目名	授業担当者(担当)氏名	区分	単位	開講年次
リサイタル I II	銅銀 久弥 田部 京子 岡田 博美 川久保 賜紀 池原 舞	必修	1	1/2

《授業の概要》

学内(アンサンブル室)で行う一般公開リサイタル。

《到達目標》

個々の専攻楽器による独奏および重奏作品を含んだ、正味 50 分以上 60 分以内のプログラムを、作品の背景となる評伝や音楽理論などの知識を活かしたプログラム解説文を自ら執筆することによって、演奏の実践と知的なアプローチとを総合させ、結果「音楽表現の無限の多様性を自らが感受し、表現すること」ができるようになる。また、演奏家としてのステージマナーを身につけることができるようになる。

《履修方法》

1. 演奏曲目および開催日は、主任指導教員の指導の下で決定するものとし、演奏時間は「50分以上60分以内」として構成するものとする。
2. 原則として「開催希望日の3か月前まで」に所定の「開催申請書」に必要事項を記入の上、事務室に提出するものとする。(履修案内 10 頁 / 7.開催の申請・日程等 参照)
3. プログラムの原稿(曲目解説等)は、本人が執筆するものとする。執筆にあたっては、楽曲研究基礎担当教員の指導を受けるものとする。なお、初稿提出締切は、開催日の3週間前とする。(履修案内 11 頁 / 8.プログラムの制作 参照)

《授業計画》

専攻実技レッスン時に主任指導教員と演奏曲目を決め、リサイタル当日までのレッスン計画を決定する。リサイタル開催前には、教員立合いのもと、会場練習を行う。

《履修資格／履修に必要な予備知識や技能》

1・2年次生

《授業の形式》

一般公開リサイタル

《成績評価の要点》

成績は、演奏研究成果の発表で判断し、「合格」又は「不合格」の表記とする。

《課題(試験・レポート等)に対するフィードバック方法》

課題に対しての到達度と成果について、担当教員のコメントを基に研鑽を積む。

《事前・事後学習、必要時間》

リサイタル本番を想定した練習を行うこと。(ステージマナー等を含む。)
リサイタル後は、記録音源を聴き復習すること。
事前、事後学習に必要な十分な時間を設定する。

《教材》

選択した曲目の楽譜、総譜 等

《授業時間以外で、この授業内容等について質問がある場合》

レッスン時間前後。事前に担当教員へアポイントを取ること。